

中小企業支援に向けた地域金融機関との連携

森俊彦金融庁参与を講師に招き

「地域金融の未来」をテーマにセミナー開催

TKC四国会高知支部（令和2年11月20日）

TKC高知支部による「アフターコロナの金融機関支援キックオフセミナー」が高知市かるぼーとにおいて開催され、森俊彦金融庁参与が「地域金融の未来」金融機関・経営者・認定支援機関による価値共創」をテーマに基調講演を行った。会員事務所と金融機関4行8名合わせて、約60名が参加した（Web参加を含む）。

森参与は、テーマと同タイトルの著書に基づき、①地域金融機関の使命とは②事業承継と経営者保証③金融機関の「健



全性」は「金融仲介機能の発揮」があれ
ばこそ④伴走支援型融資——等の要点に
ついて述べ、令和2事務年度金融行政方
針を踏まえた金融機関、支援協議会、保
証協会、税理士等の連携による中小企業
支援を呼びかけた。

TKC東京5会（令和2年11月30日）

TKC東京5会（東・東京会、東京都
心会、東京中央会、城北東京会、西東京
山梨会）の中小企業支援委員会主催によ
る「中小企業経営支援Webフォーラム」
が開催され、200名超が参加した。

森金融庁参与は、基調講演「地域金融
の未来」において、金融機関には銀行法
第1条（目的）に記載された通り、交渉
相手ではなく企業経営者に寄り添い伴走
する姿勢が問われ、メインバンクのあり
ようが明確になってくる等と述べた。ま
た鈴木信二全国会中小企業支援委員会副
委員長から税理士に求められる中小企業
支援等について語られた。

TKC関東信越会 埼玉りそな銀行・福岡聡社長とのトップ対談

令和2年12月9日、埼玉りそな銀行の福岡聡代表取締役社長を埼玉3支部長が訪問し、石岡正行会員（本誌編集長）によるインタビューが行われた。コロナ禍が続くなか、より地域金融機関と税理士のコミュニケーションを深めた中小企業支援の必要性が確認された。



波沢栄一翁扁額「徳道銀行」の前にて、
埼玉りそな銀行の福岡聡社長（中央）と3支部長

当日は地域金融機関から日本政策金融公庫、東京信用保証協会、きらぼし銀行、西武信用金庫、東京東信用金庫、第一勧業信用組合、東京都経営改善支援センターが参加し、今後の中小企業支援策等の情報提供が行われた。